

劣化した塩ビシート屋上防水材を復元し、確実に保護——。
防水効果と外観を長期間維持します。

ニットク 塩ビシート屋上防水材 リフレッシュ工法

【第2版】

太陽光の影響により「塩化ビニル樹脂系屋上防水材」（以下、塩ビシート屋上防水材）は経年で劣化が進み、物性低下による漏水やシート表面のチョーキングによる外観不良といった不具合が発生します。このような不具合は、シート表面に保護塗料を塗装することで避けることができます。しかし、従来の塗料では塩ビシート中に含まれる可塑剤などの影響により、十分な密着性が得られず塗り替えが困難とされてきました。このたび当社では、このような状況にお応えするため「ニットク塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法」を確立しました。

特長

1 防水シートを保護し、その効果を長期間持続させます。

塩ビシートは太陽光（紫外線）により経年劣化します。その劣化個所に物理的な負荷が加わるとシートが破断し、漏水の原因となります。塩ビシート塗替え用塗料を塗装することにより、防水シートの紫外線による劣化を防ぐため防水効果を長期にわたって維持できます。

2 豊富なカラーバリエーションで外観を美しく彩ります。

塩ビシート中に含まれる可塑剤の移行がないため、これまで可塑剤が原因とされた汚れや変色がありません。また、上塗塗料の豊富なカラーバリエーションで屋上をカラフルにコーディネートできます。

3 良好な密着性で、美観を維持します。

塗料中に含まれる溶剤が塩ビシートに含浸することで塗膜を復元します。また、塗料とチョーキング塗膜が混合されることで下地との密着性を強化し、チョーキング塗膜が原因となる剥離を防止します。



施工方法

- ①下地のチョーキング塗膜は高圧水洗などでできるだけ除去してください。
- ②チョーキングが激しい場合、もしくは洗浄できない場合はウエスやマジックロンなどでできるだけチョーキング塗膜を除去してください。
- ③プライマー（下塗）はローラーでしごくように塗装してください。しごいて塗装することでチョーキング塗膜を溶解・復元し、プライマーに混合させます。
- ④プライマーは厚く付けすぎないようにしてください（使用量を厳守ください）。塗料のたまりができますと剥離の原因になります。
- ⑤上塗塗料はブルーフロンGRトップ、GRトップ遮熱、ユータックFTをご使用ください。

荷姿

●NT塩ビシートプライマー	12kg
【推奨上塗】	
●ブルーフロンGRトップ A液	15kg
●ブルーフロンGRトップ B液	3 kg
●ブルーフロンGRトップ遮熱 A液	15kg
●ブルーフロンGRトップ遮熱 B液	3 kg
●ユータックFT A液	15kg
●ユータックFT B液	3 kg
●ブルーフロンGRトップシンナー	16ℓ



▲施工中

◀施工後

標準塗装仕様

● ニットク塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法標準塗装仕様（ブルーフロンGRトップ仕上げの場合）

塗装工程	材料の調合	施工方法	可使時間	使用量	施工間隔
① 素地調整	●塩ビシート表面を高圧水洗後に、ゴミやホコリ、油脂類はブラシなどで除去してください。 ●塩ビシート表面が乾燥後に次の工程に進めてください。 ●下記の注意事項も参照してください。				
② 下塗	●NT塩ビシートプライマー12kg	●刷毛 ●ローラー	—	0.1~0.2kg/㎡	4時間以上12時間以内 (23℃)
③ 上塗※	●ブルーフロンGRトップ A液15kg ● // // B液 3kg ●ブルーフロンGRトップシンナー 0~2kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間 (23℃)	0.2kg/㎡	歩行可能時間：24時間以上 養生時間：48時間以上

※下塗の施工間隔が開きすぎた場合は必ず艶がなくなるまでサンディング、清掃を行なった後に再度NT塩ビシートプライマーを塗布してください。

※上塗はブルーフロンGRトップ遮熱、ユータックFTもご使用いただけます。

[注意事項]

■素地調整について

- 極端な塩ビシートのチョーキングはブラシなどで撤去してください。
- 塩ビシートの表面に細かい傷がつくようにマジックロンなどで目あらしを行なってください。

■塗料と塗装について

- 下塗を塗装するとき、ローラーを強く押して同じ場所を2~4回塗布してください。
- 上塗は2液反応硬化型塗料です。塗料の調合比は重量比ですので、混合割合を間違えないようにしてください（使用前によく攪拌してから使用ください）。また、調合した塗料は可使時間内に使用してください。
- 上塗の希釈には必ずブルーフロンGRトップシンナーを使用してください。シンナーの種類によっては、粘度低下が著しい場合や艶がでない場合がありますので注意ください。また、過剰なシンナー希釈は艶の低下や外観

不良の原因になります。

- 塗料の希釈割合は塗料温度や施工条件、塗装方法によって異なります。事前に試し塗りを行なってください。
- 気温5℃以下、40℃以上、湿度85%以上の場合、また、降雨や降雪、降霜が予測される場合は塗装を避けてください。
- 高圧水洗後はよく乾燥させてから塗装してください。
- 上塗はイソシアネート系の硬化剤を使用しています。塗装時に塗料やミストが直接皮膚や粘膜に触れないようにしてください。また、スプレーミストを吸い込まないように必ず防護具を着用してください。
- ニットク塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法は塩ビシート的美観、保護を目的とした工法です。著しい劣化により、防水機能が低下した塩ビシートに施工しましても、防水性は向上しませんので、ご注意ください。

.....「ニットク塩ビシート屋上防水材リフレッシュ工法」取り扱い上の注意事項..... (よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6203 ●FAX(03)3913-6323
 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 ●FAX(0463)23-3739
 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 ●FAX(0566)81-8124
 大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 ☎(06)6386-8492 ●FAX(06)6338-3560
 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 ●FAX(082)423-8256
 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 ●FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>
 ●ニットク・アメニティシステム連合会ホームページ <http://www.e-toso.net/>

■代理店

NESB-0110J-P #2 [2010年1月作成]



本リーフレットは環境保全のため、印刷インキには大豆インキを使用しています。このSOY INKマークは米国大豆協会承認マークです。